

キリスト教保育

2023年8月1日発行（毎月1回1日発行）第653号

年主題

ともにつむぎだす

（希望の中で）

論説

キリスト教保育の平和

月下星志

小論

トラウマという視点から家族を見る

杉山春



MAKOTO
TANAKA

8

2023 AUG.

貧しい人は地を継ぎ 豊かな平和に自らをゆだねるであろう。

聖書 新共同訳・詩編37:11

詩編37編は、神に対する信頼がこの詩全体を貫く基調となっています。詩というよりむしろ格言を集めたものであるという人もいます。この詩にはどんな人が「地を継ぐ」資格があるか、と共に、どんな人がその資格をもたないかを間接的に述べています。

主に望みをおく人は、地を継ぐ (9) 貧しい人は地を継ぎ (11) 神の祝福を受けた人は地を継ぐ (22) 主に従う人は地を継ぎ (29) 主に望みをおき、主の道を守れ。主はあなたを高く上げて 地を継がせてくださる (34)

主に信頼し、善を行え。この地に住み着き、信仰を糧とせよ (3) と。これらの人々が「地を継ぐ」といいます。詩人にとって、「この地」はイスラエルの国土だったと思います。要するに、神の正義は「地を継ぐ」これらの人々を通じて、この地に行われると考えているのです。「豊かな平和に自らをゆだねるであろう」(11)、「平和な人には未来がある」(37)とも歌っています。英語の聖書には少々興味あることに気づきます。enjoy prosperity and peace (詩編37:11) このenjoyには「楽しむ」「享有する」という意味の中に、一種の満足感をもっている言葉だと思うのです。平和を楽しみ、享有するという充足感が生きている表現です。

「地を継ぐ」者になるために、私たちの保育が目指すところが明確になってきます。子どもたちの感性と心性を「地を継ぐ」者への祝福に近づけることです。

一日の保育を終えて、ほっと一息ついて目を閉じたとき、あの時あの場面での子どもたちの言葉が、あなたの耳に飛び込んできませんか。喜びの言葉ばかりではなく、怒りや不平を、あるいは余計な世話をやく言葉、訴える言葉、言葉にならない言葉が聞こえてくるでしょう。すべてあなたの保育に対する要求や評価ではありませんか。その言葉を聞き分ける知恵も必要です。

この子たちが「地を継ぎ」、平和をつくり出すのに一役買うことができるように、明日の保育へ、心を燃やそうではありませんか。聞こえてくる言葉に耳を傾けながら、保育を楽しむことができたと思うのです。

(宗宮 進・執筆 当時・日本キリスト教団津山教会牧師 田町保育園園長)
1989年『キリスト教保育』誌8月号より

キリスト教保育

第653号8月号



年主題

ともにつむぎだす

～希望の中で～

幼子とともにキリストへ

目次

〈巻頭言〉楽しむ 金子榮風 2

〈論説〉キリスト教保育の平和 月下星志 3

〈小論〉

トラウマという視点から家族を見る 杉山春 6

図書紹介 安部一徳 麻生活美 14

聖書に聞く・お話 山本香織 19

〔カリキュラム〕

8月 月のねがい表

心にとめて 高梨美紀 23

実践報告 めいろうこども園 24

実践からの学び 大久保めぐみ 26

心にとめて 鈴木直江 31

実践報告 錦織保育園 32

実践からの学び 高田憲治 34

〈連載〉子どもの健康 田中弘美 39

〈連載〉キリスト教の行事 42

姫路日ノ本短期大学付属幼稚園

目福口福耳福 山口里子 45

礼拝のお話 矢部尚子 46

絵本のとびら 丸山博美 56

子どもと賛美するために 57

風 塚本潤一 編集子 西嶋佳弘 58

連盟だより 59

表紙絵
カット

田中横子
中畝治子 こだいみのり
松成真理子 金井ユリ

